30　日本という国「大正デモクラシー」

日本を見つめ直し、楽しく生活、仕事しましょ、シリーズ。

「大正デモクラシー」は概ね大正時代の政治、社会、文化の自由主義的風潮のことを言います。　デモクラシーは民主主義という意味です。

長い封建時代において、民は各藩への帰属意識が強く、日本人としての意識は希薄でした。　幕末、列強国の植民化の危機が日本に及ぶようになり、明治政府という集権国家となってから、民は日本人であることや国家を意識するようになります。

そして、地租改正で土地の私有が認められたり、身分制度が廃止され、平等を基本とする教育制度、職業の選択が自由になるなど、日本人は近代化のなかで国民としての権利意識や自我に目覚めていくことになります。

ことに、封建時代とことなり、日清・日露戦争における徴兵制によって、自らが戦争に関わるようになったこと、また日露戦争における重税の発生は国民の権利意識を高め、社会運動が活発化し、政府や軍閥の政策に影響を与えはじめ、一般の国民も選挙への参画を強く希望するようになり、男性のみと限定的ではありますが普通選挙法が成立します。
大正の時代は現代につながる民主主義が芽生えた時代と言っていいと思われます。

また、同時代に発生した第一次世界大戦は戦争特需をもたらしました。　さらに戦後、戦場となったヨーロッパの力が衰退し、膨大な戦争資金の貸与をおこなって一等国として台頭したアメリカは、当初貿易や投資の対象としていた中国の清が明治末に崩壊し、無政府状態となったことでアジアで唯一、工業製品輸出や投資の対象となった日本に資本を供給するようになり、日本は豊かになり大衆消費社会の先駆けとなります。

電灯、電気の普及がはじまり、銀ブラ、デパートでのショッピングが一般的になり、娯楽活動写真や宝塚歌劇団、ラジオ放送、蓄音機・レコードの発売、高校野球・六大学野球が始まり、大衆の娯楽が拡がり、純国産第一号の車がつくられモータリゼーションが始まりました。　また、企業数の急増に伴いサラリーマンが一般化しました。

大正時代は短いものでしたが、このように現代に続く社会が形成された時代でした。

しかしこの時代、世界では第一次世界大戦中ロシア革命という大事件がおこりました。ソビエト連邦に至る内戦過程において、イギリスの強い要請で、ドイツへの牽制と共産革命の干渉を目的とした日本・米国・カナダなどでシベリア出兵がありました。　ドイツ降服で第一次大戦はおわり、内戦の反革命軍が負け、シベリア出兵の意味がなくなり各国は撤収しましたが、日本は事後処理として長く撤収しませんでした。　このことが、特に米国に領土的野心ありと日本への警戒、仮想敵国との認識を強めることになります。

また、国内政治への軍の専横や国際的な軍縮の流れは国民の軍への反発を生み、軍が国民から孤立する風潮となり、後の軍の暴走の遠因となります。

東京駅

ダット号

マヨネーズ

松下電器

シャーペン

蓄音機

宝塚

モダンガール

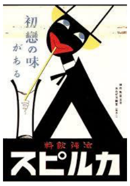
森永キャラメル

高島屋

帝国ホテル

パイロット万年筆

主婦の友



ラジオ

タワシ

キネマ